

①学校名:	立教大学 大学院(私立)	②所在地:	東京都豊島区西池袋3-34-1				
③課程名:	人工知能科学研究科人工知能科学専攻 博士課程前期課程	④正規課程/履修 証明プログラム:	正規課程	⑤開設年月日:	令和2年 4月1日		
⑥責任者:	人工知能科学研究科委員長 内山 泰伸	⑦定員:	63名	⑧期間:	2年間		
⑨申請する課程 の目的・概要:	人工知能科学研究科では、広い視野と、AIと社会をつなぐ力によって、さまざまな社会課題の解決のために貢献できる人材の育成を目指している。						
⑩10テーマへの 該当	DX(AI・IoT等)	⑪履修資格:	学校教育法第91条に規定する大学院に入学することができる者				
⑫対象とする職業 の種類:	企業、官公庁等の従事者、人工知能の社会実装に強い関心を持つ者。						
⑬身に付けること のできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・機械学習、深層学習や数理統計学といったAI・データサイエンス分野に共通する知識 ・機械学習・深層学習を実装するためのプログラミング技術、AIを用いたデータ解析手法			(得られる能力) AIプランナー、AIエンジニアとして活躍するために必要な、AI技術の社会実装プロジェクトをマネジメントできる力			
⑭教育課程:	機械学習をはじめとして人工知能やデータサイエンス、ディープラーニングを本格的に学習し、先端的研究に携わる。そのため機械学習・データサイエンスを修得するうえで重要な情報科学などの基礎科目に重点を置き、そのうえでAIを社会実装するために必要な「先端科学技術の倫理」などの科目群をバランスよく学んでいく。AI・データサイエンス技術修得のための授業は双方向・演習形式をとり、学生は実際に手を動かしながら技術を修得する。また、「プロジェクトチーム実習」を通して、社会実装プロジェクトのマネジメント手法を修得する。						
⑮修了要件(修了 授業時数等):	本課程に2年(4学期)以上在学して所定の単位(30単位以上)を修得し、かつ、研究指導を受けた上、修士論文又は特定課題研究に係る研究開発プロジェクト報告書を提出して、その審査及び最終試験に合格すること。						
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	修士(人工知能科学)						
⑰総授業時数:	90 単位	⑱要件該当授 業時数:	70単位	該当 要件	双方向 実務家	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	78%
⑳成績評価の方法:	科目により、筆記試験・レポート試験・口頭試問のいずれかで実施する。ただし、一部の科目は試験ではなく、授業期間中の指導状況や小テストを平常点として成績をつける。						
㉑自己点検・評価 の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。立教大学における教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、全学的な組織である立教大学自己点検・評価運営委員会(以下、運営委員会。)および、各組織について当該組織名を付した自己点検・評価委員会を設置し、各組織の諸活動について自己点検・評価を行っている。組織ごとの各点検・評価委員会は、「立教大学自己点検・評価規程」に基づき、年1回以上委員会を開催し、運営委員会に毎年活動を報告している。運営委員会は、7年ごとに、各委員会の報告を基に全学の自己点検・評価報告書を取りまとめ、総長の承認を受けた上で、ホームページ等にて公表している。						
㉒修了者の状況に 係る効果検証の方 法:	修了時に、Googleフォームを用いた進路調査アンケートを実施しており、その結果を研究科で共有することで効果を検証している。						
㉓企業等の意見 を取り入れる仕組 み:	(教育課程の編成) 年に1~2回程度、企業等で働く外部の方を中心メンバーとしたアドバイザリーボードを開催しており、研究科の教育課程や取り組みについて、意見を聴取し、教育の改善に繋げている。 (自己点検・評価) アドバイザリーボードにおいてメンバーから出された助言・提言については、研究科内の自己点検・評価委員会に報告がなされ、自己点検・評価の材料として取り扱う。自己点検・評価委員会において課題とされた項目については、研究科委員会において改善策等を議論し研究科の運営や教育課程への反映する。						
㉔社会人が受講 しやすい工夫:	社会人が受講しやすいように、平日は18:55以降の夜間や土曜日に大部分の科目を設置している。また、社会人入学者を対象とした50万の給与奨学金を設ける事で経済支援も行っている。						
㉕ホームページ:	(URL)https://ai.rikkyo.ac.jp/						